

読響

YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

情熱のブラームス

華麗なるショパン



指揮

坂入 健司郎

クラシック界を賑わせる風雲児！
異色の経歴で注目度抜群の新星

©中川幸作

©Taiga Tairadate

管弦楽

読売日本交響楽団



ピアノ

牛田 智大

繊細なタッチから紡がれる美しい旋律
みずみずしいピアノニズムで、さらなる高みへ！

©Ariga Terasawa

©Ariga Terasawa

輝かしい金管楽器が鳴り響く歓喜のフィナーレ！
感動を呼び起こす珠玉の名曲

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲

ショパン：ピアノ協奏曲第2番 へ短調 作品21

ブラームス：交響曲第1番 ハ短調 作品68

読売日本交響楽団《創立60周年記念 甲府特別演奏会》

2022年 4.29(金・祝) 15:00

YCC県民文化ホール 山梨県立
県民文化ホール

全席指定 ¥3,500 / 学生(25才以下/限定枚数) ¥1,000

※学生券は読響チケットセンターのみで取り扱い

チケット発売
2.23
(水・祝)

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター

TEL 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

YCC県民文化ホール チケットセンター

TEL 055-228-9131 (9時~17時・休館日除く)

読売日本交響楽団 創立60周年記念 甲府特別演奏会

新星・坂入健司郎が振る 《情熱のブラームス》

俊英ピアニストの牛田智大が ショパンを弾く！

日本屈指のオーケストラ・読売日本交響楽団が、24年ぶりに甲府公演を開催！今、最も旬な指揮者とソリストを迎えて、ショパンとブラームスの名曲をお届けします。絢爛豪華なサウンドに包まれる、極上のひとときをご堪能ください。

前半は、俊英ピアニストの牛田智大が登場し、ショパンの傑作協奏曲を弾きます。幼い頃から“神童”として絶賛され、テレビなどでも注目を浴びてきた牛田は、近年ますますその芸術性を深めています。昨年はショパン・コンクールにも出場し、持ち前のみずみずしい音色と豊かな表現力を披露して大きな話題を呼びました。ストイックな姿勢でさらなる高みを目指す牛田は、得意とするショパンの独奏で、さらに磨き抜かれた音楽性を惜しみなく発揮するでしょう。

後半は、ブラームスの交響曲第1番。ブラームスが着想から20年以上もの歳月をかけて完成させた最初の交響曲です。指揮は、新星マエストロの坂入健司郎。会社員との二足の草鞋を履きながら兼業指揮者として約10年間活動し、昨年遂に指揮一本に絞って活動を本格化させました。自ら楽団を結成しプロ顔負けの名演を生み出してきたその実力から、「将来を嘱望される新鋭」と一目置かれるほど。精力的な活動で実績を積み上げてきた坂入が、今回満を持して読響の指揮台に上がります。渾身のタクトが、作品に込められた並々ならぬエネルギーを余すことなく引き出して会場を沸かせるでしょう。

若き音楽家たちが繰り広げる白熱の競演にご期待ください。



坂入 健司郎 (指揮)

異色の経歴を持ちながら、音楽への深い愛をピュアな感性でタクトに込める新鋭指揮者。1988年生まれ、慶應義塾大学卒業。一般企業に就職しつつ、2008年から東京ユヴェントス・フィルを主宰。同フィルを定期的に指揮し、デームスや館野泉ら巨匠と共演して好評を得ている。今年1月のマラー「復活」の演奏は大きな注目を集めた。15年、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭に出演し、モーストリー・クラシック誌で「注目の気鋭指揮者」に推薦。16年、川崎室内管を立ち上げて音楽監督に就任し、その活動が朝日新聞「旬」ほかメディアにも取り上げられた。昨年から指揮活動に専念し、名古屋フィル、大阪フィル、日本フィルなどに次々とデビューし、脚光を浴びている。今回、読響に初登場。

©Taira Tairadate



牛田 智大 (ピアノ)

“神童”として絶賛される一方、ストイックな姿勢で音楽性を磨き続ける俊英ピアニスト。1999年生まれ。3歳からピアノを始め、5歳で上海のコンクールで優勝。2012年には浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少優勝を果たし、クラシックの日本人ピアニストとして当時最年少でCDをリリースした。NHK「プロフェッショナル」の特番でも取り上げられ、大きな話題を呼んだ。国内各地でリサイタルを開催するほか、ブレトニョフ、カズプシク、小林研一郎ら巨匠の指揮で、ロシア・ナショナル管、ワルシャワ国立フィル、ハンガリー国立フィルなど国外の一流楽団と共演。18年、浜松国際ピアノコンクールで第2位。19年出光音楽賞受賞。

©Ariga Terasawa



©読響

読売日本交響楽団 (管弦楽)

1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。2019年4月、第10代常任指揮者にヴァイグレが就任。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京・サントリーホールなどで充実した内容の演奏会を開催している。17年11月にはメシアン(アッジの聖フランチェスコ)(全曲日本初演)が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン」で第1位となったほか、サントリー音楽賞を受賞。演奏会などの様子は日本テレビ「読響プレミア」で放送されている。甲府公演は、98年の開催以来約24年ぶりとなる。

読売日本交響楽団《読響創立60周年記念 甲府特別演奏会》

2022年4月29日(金・祝) 15時開演

YCC県民文化ホール(山梨県立県民文化ホール) 山梨県甲府市寿町26-1 総合受付Tel. 055-228-9131

全席指定 ¥3,500 / 学生[25歳以下/限定枚数] ¥1,000 *学生券は読響チケットセンターのみで取り扱い

●JR甲府駅南口バスターミナル(1)番のりば、山梨交通バスに乗車「県民文化ホール前」にて下車

■学生券は読響チケットセンターのみでお取扱いいたします。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター TEL: 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

YCC県民文化ホール チケットセンター

TEL: 055-228-9131 (9時~17時・休館日除く)

オンラインチケット: <http://www.yamanashi-kbh.jp/ticket/index.html>

